



第81号

Let's Sports!!

平成19年9月1日
発行
財団法人 稚内市体育協会
会長 門間 松美
〒097-0027 稚内市富士見4丁目
稚内市総合体育館内
(財)稚内市体育協会事務局
TEL 28-1111/FAX 28-1112
E-mail :taikyo@wakkanai-sports.or.jp
URL http://www.wakkanai-sports.or.jp

石垣市友好都市提携二〇周年記念

3000キロの距離を縮める

“感動と友情”のスポーツ交流

《事務局同行レポート》



川平湾をバックに

稚内市と石垣市(沖縄県)は、最北端と最南端の都市同士の縁で、昭和六十二年に友好都市を提携以来、今年で二〇周年を迎えました。この間、様々な分野で交流がなされていきますが、平成六年から現在も確実な交流が続いている事業が、スポーツ少年団の相互交流です。今年も、サッカースポーツ少年団員十二人と高校生リーダー一人のほか引率者三人が石垣市を訪れました。今号では、灼熱の太陽の下で育まれた友情と感動の一週間をお知らせします。

第一声は、暑ツツイ!!

●七月二十七日(金)くもり
気温十九度の稚内空港での出発式を終え、羽田空港経由で那覇に到着。気温三十度に一同「暑ツツイ」の連呼の中、那覇のホテルで第一日目終了。

初めて見る海の色と八重山文化

●七月二十八日(土)晴れ
那覇空港からおよそ一時間の空の旅ではじめて見る海の色に見とれながら、勇躍石垣島へ到着。歓迎と民泊(ホームステイ)先の家族との対面式。そして八重山民族園、川平湾のグラスボート、ミンサー織、パイ

ン農園の見学や体験などの後は、それぞれの民泊家庭での生活で二日目終了。

暑さにへばったサッカー交流

●七月二十九日(日)晴れ
午前中は、カーサームーチャー(もち米を練って、月桃の葉にくるんで蒸す、沖縄のお菓子)と壁掛けシーサー(獅子の顔をした魔よけ)づくりの体験活動。午後からは、いよいよメインイベントのサッカー交流。昼間は気温が高いため、夕方のキックオフにもかかわらず、三十度を超えた中での対戦は北国仕様の稚内チームにとっては過酷な条件でした。対戦結果は一勝一敗の互角でしたが、経験のない暑さが選手の動きを鈍くすることや水分補給の大切さなど貴重な体験で三日目が終了。



気温30度の中で

夕日に誓った友情

●七月三十日(月)晴れ
午前中は南国情緒溢れる竹富島めぐりのほか、海水浴を楽しみ、午後からは石



サッカーの準備体操がわりに？ 南中ツララン

お父さんお母さん「行ってきます」

●八月一日(水)晴れ
最終日は市役所前での「南中ツララン」披露と挨拶。石垣空港では、石垣(民泊先)のお父さんやお母さんの見守る中、最後の「ツララン」を披露した後、「行ってきます(さよなら)」の挨拶を残して石垣島を後にしました。一時間遅れで到着した那覇では、玉泉洞王國村の鍾乳洞や、琉球太鼓などを見学し沖縄最後の夜を過ごしました。

笑顔で「ただいま」

●八月二日(木)晴れ
台風の影響から、九州上空では大きく揺れる一幕もありましたが、定刻より少し遅れて到着した稚内空港では、出迎えの家族や関係者を前に、団員代表から



大濱市長と記念撮影

「全員真っ黒に日焼けし、元気に帰ってまいりました。」

「来年は稚内で会おう」

猛暑に体調を崩す団員もいましたけれども、事故や怪我も無く帰ることができました。石垣市の皆さん(特に民泊家庭)には、大変お世話になりました。今年の訪問団員家庭は、来年の受け入れとなります。過度にならず、普段どおりの生活で受け入れていただければと願っています。

【事務局 佐々木則幸】

松坂記念館を実現する会

署名総数 7,340人



8月29日には、2回目の構成団体幹事会議が行われ、これまでの署名活動などの報告がなされました。また、今後の活動方針として、稚内市の協力の下に、松坂投手に市民の思いを伝える手段を検討することなどが決まりました。※ご協力ありがとうございました。